

超低汚染

高弾性塗膜

高耐候性

防カビ防藻

水性

2液

高耐候高弾性超低汚染2液形水性アクリルシリコン樹脂系塗料

アレスアクアセラシリコン

ALES AQUA CERA SILICONE

JIS A 6909 建築用仕上塗材 可とう形改修塗材 E 適応上塗材



■アレスアクアセラシリコン

JIS A 6909 可とう形改修塗材 E

■塗替えパターン例

建築物をやさしく保護し、
長期の美観を保つ
『高耐候高弾性超低汚染
2液形水性塗料』が
誕生しました！



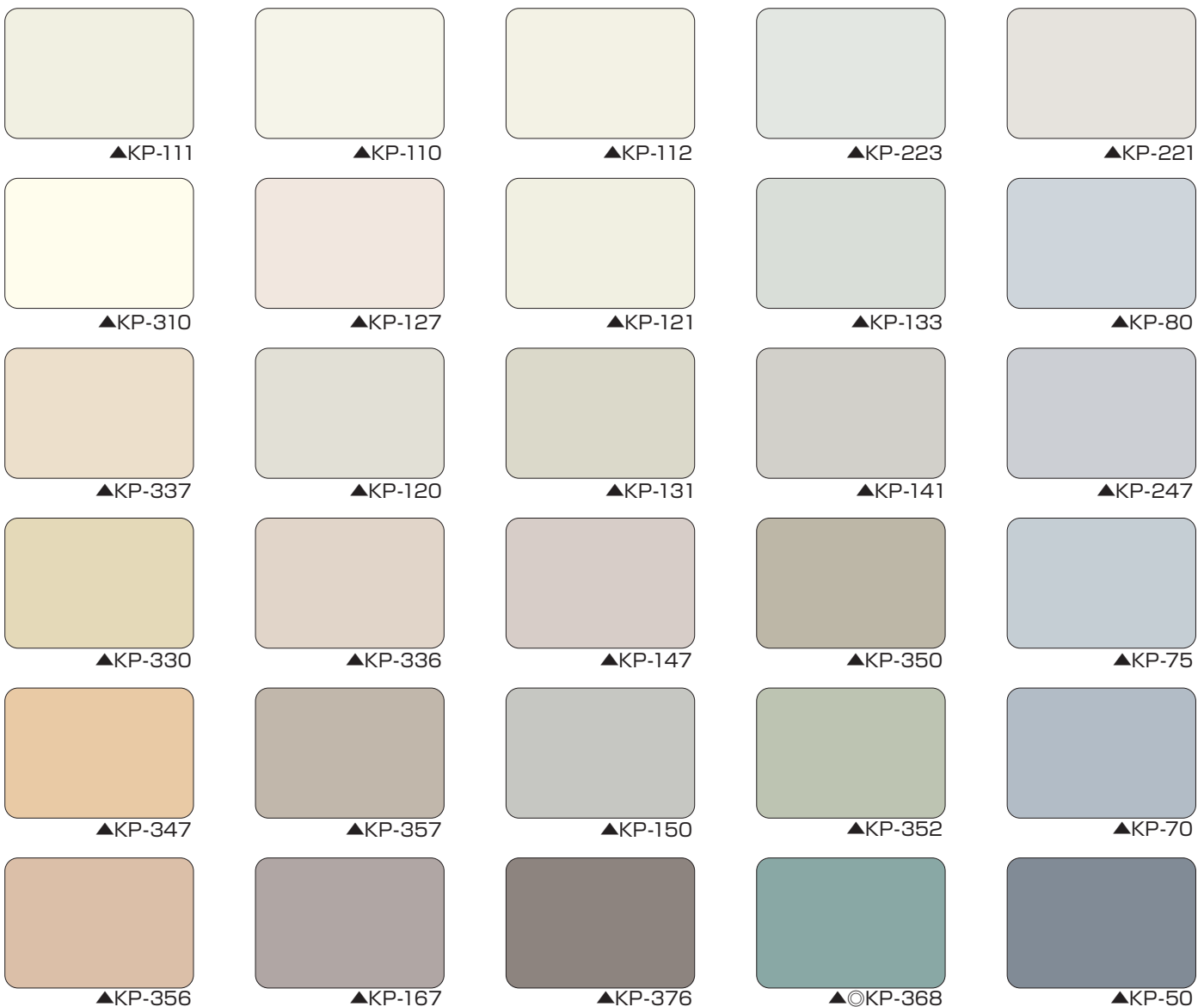
◀アレス
アクア
セラシリコン
(KP-112)

◀アレス
弾性ホルダー防水形
(多孔質ローラー)

◀リシン(既存塗膜)

■提案色見本

近年の流行色を厳選した、カラーバリエーションにしております。



●この色見本は紙に塗装していますので、実際の色・ツヤが多少異なる場合があります。予めご了承ください。

●提案色以外でも日本塗料工業会色見本帳などでの調色も可能です。

◎は材料費が割高になります。

アレスアクアセラシリコンの3大特長

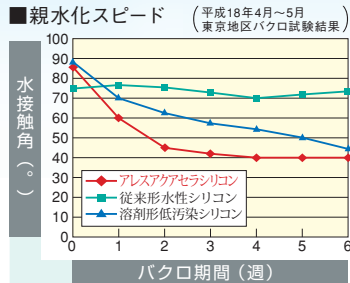
2液形
ベース/硬化剤 = 14kg/1kg

その1 超低汚染機能 (特許出願中)

水性塗料での親水塗膜を実現しました。

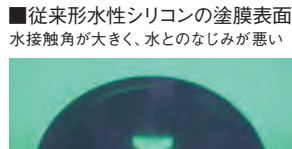
低汚染性機能のポイント？

セラミック成分の複合により塗膜を親水化させることです。



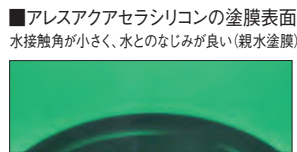
水性塗料では困難だったのでは？

セラミック成分は水と反応するため、水性塗料の場合、塗料状態で反応がすすみ、親水化が難しかったのです。

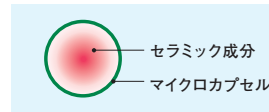
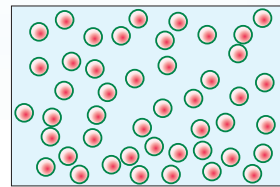


アレスアクアセラシリコンは

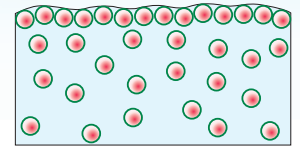
「特殊セラミック成分のマイクロカプセル化技術により」水性塗料での親水化に成功しました。



アレスアクアセラシリコン (ベース・硬化剤混合時) 塗料中のイメージ



アレスアクアセラシリコン 乾燥塗膜のイメージ



セラミック成分が、塗料中に細かく分散し、かつ塗膜表面に配向した後、効率良く水と反応するためバクロ後、短期間で塗膜表面に親水化が発現する。

■白塗料における屋外バクロ6ヵ月のΔL値と塗膜状態

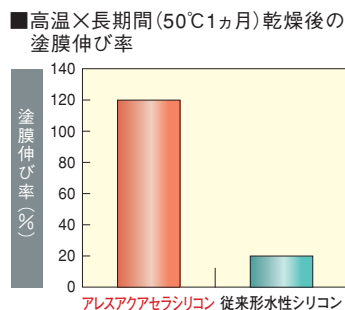


ΔL値：初期と試験後の白さ比較値。数値が小さいほど、汚れが少ない。

その2 防水機能

建築物に生じるクラックに追従して、高い防水性を発揮します。

建築物に生じるクラックに追従して、高い防水性を発揮するには、主材のみならず、上塗にも柔軟性が求められます。アレスアクアセラシリコンは、建築用塗膜防水材料 (外壁用) の上塗としても適用可能です。



■アレスゴムウォール (建築用塗膜防水材料 (外壁用)) 適性

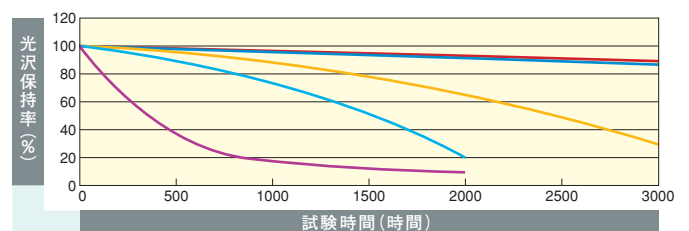
試験項目	アレスアクアセラシリコン	従来水性	備考
温冷繰り返し試験	良好	上塗ワレ	JIS A 6909 7.10 23℃上水浸漬18時間～ -20℃×3時間気中冷却～ 50℃×3時間気中加温を 1サイクルとし10サイクル
促進耐候試験	良好	上塗ワレ	キセノンランプ法2500時間
屋外バクロ試験	良好	上塗ワレ	沖永良部バクロ12ヵ月

その3 高耐候性

特殊アクリルシリコン樹脂により、耐候性に優れた塗膜を形成します。

JIS A 6909
耐候形1種
合格レベル

— アレスアクアセラシリコン — 溶剤形ウレタン
— 溶剤形アクリル — 溶剤形シリコン
— 合成樹脂調合ペイント (色合い:白)



■性能

※キセノンランプ法

性能	項目	結果	試験内容
	初期性能	容器の中の状態	合格
塗装作業性		合格	ハケ、ローラーで2回塗りに支障がないこと
鏡面光沢度		80	60°グロス
低温安定性		合格	-5℃で変質しないこと
耐久性能	耐水性	合格	上水浸漬7日で異常がないこと
	耐アルカリ性	合格	飽和水酸化カルシウム水溶液7日間浸漬
	温冷繰り返し試験	異常なし	(20℃上水浸漬18時間→-20℃の気中3H→50℃の気中3H)×10サイクル
	促進耐候性	91%	キセノンランプ法2500時間後の光沢保持率

標準塗装仕様

〈JIS A 6909 可とう形改修塗材E適合仕様〉

工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(%)
素地調整	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な処理を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ・ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れ、チョーキング粉を高圧水洗で除去する。					
1	下地調整材 アレス弾性ホルダー防水形(注1) 上水	1	0.8~1.5	8時間以上7日以内	多孔質ローラー	1~4
2~3	上塗り アレスアクアセラシロン 上水	2	0.13	4時間以上7日以内	ウールローラー	5~10

注1) 塗り替えて下地が脆弱な場合、吸い込みが大きい場合、下地補修部、または新設時にはシーラーを塗装してください。

〈JIS A 6021 建築用塗膜防水材(外壁用アクリルゴム系)仕様〉

工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(%)
素地調整(新設)(注2)	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどをワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを用いて除去、清掃する。(ph10以下、含水率8%以下とする)					
素地調整(塗替)	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な処理を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ・ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れ、チョーキング粉を高圧水洗で除去する。					
1	下塗り アレス水性ゴムウォールシーラー	1	0.15	2時間以上7日以内	ウールローラー	無希釈
2~3	中塗り アレスゴムウォール(ローラー用) 上水	2	1.2~1.5	16時間以上7日以内	多孔質ローラー	2~4
4~5	上塗り アレスアクアセラシロン 上水	2	0.13	4時間以上7日以内	ウールローラー	5~10

注2) 下地の状態により、アレスカチオンフィラー等を用いて適切な調整を行ってください。

◎標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

◎塗料性状に関する詳細は、一品一葉製品説明書をご参照ください。

JIS A 6909 適用システム

可とう形改修塗材E	主 材: アレス弾性ホルダー防水形 上塗材: 本品
-----------	------------------------------

品名・荷姿

- アレス水性ゴムウォールシーラー 15kg
- アレス弾性ホルダー防水形 16kg
- アレスゴムウォール(ローラー用) 16kg
- アレスアクアセラシロン(ベース/硬化剤=14/1) 15kgセット

※上記の他にも組み合わせ可能です。詳細は最寄の営業所へお問い合わせください。

施工上の注意事項

- 1) ベースと硬化剤を指定の比率で混合し、電動ミキサーで均一に攪拌してから使用してください。ベースと硬化剤の混合比率が不適切であったり、指定以外の塗料を混合したり、攪拌が不十分であった場合、本来の低汚染機能が得られませんのでこれを遵守してください。
- 2) 過希釈の場合、ハジキ・光沢低下などを生じる場合がありますので、所定の希釈率を遵守してください。また当該現場で一度定めた希釈率はなるべく同一にしてください。
- 3) 塗装後1~2日は、塗膜表面に若干の粘着性が残存しますので、粉じんなどの付着にご注意ください。尚、塗り重ね、塗膜性能に支障はありません。
- 4) 気温5℃以下、湿度85%以上、降雨、降雪、強風が予想される場合は、あらかじめ塗装を避けてください。
- 5) 低汚染機能は乾燥塗膜により発現しますので、塗膜乾燥過程で降雨にあった場合、汚染の原因となる場合があります。この場合は適切な養生を行うなどして、直接雨があたらず様子を講じてください。
- 6) 雨が直接からぬ面や笠木などの水切りが施されていない部位など、建物の形状により低汚染性が十分に発現できない場合があります。
- 7) 高温(40℃以上)及び低温(-5℃以下)での保存は避けてください。また硬化剤は低温環境下で長期貯蔵すると白濁することがありますが、容器を湯に浸し、液温を20℃以上にすることにより均一透明に戻ります。
- 8) 蓄熱しやすいサイディングボードや軽量モルタル、ALCパネルなどに塗装する場合は、旧塗膜の状態や漏水・結露などの影響により、熱フクレが生じることがありますので、施工時には入念な下地調整を行ってください。
- 9) ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りと仕上がりの違いによる色相差が生じることがあります。
- 10) 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 11) 塗装用具などの洗浄の際、上水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いてください。
- 12) 本品の硬化剤は危険物(第4類第2石油類)となります。
- 13) 施工時の気温条件により、ベース/硬化剤混合後の可使用時間(塗料の状態)に差が生じますが、本来の低汚染機能を発現させるために実用上の可使用時間を遵守してください。(特に高温時は留意してください)
- 14) 濃彩色仕上げの際、雑巾・ウエス等で強くこすると、色落ちや艶変化が起こる場合があります。

●気温と実用上の可使用時間(希釈率5~10%時)

条件	気温	実用上の可使用時間	混合24時間後の塗料状態
高温時	30℃以上	混合後3時間以内	ゲル状
常温時	15℃~30℃	混合後5時間以内	ゲル状~増粘
低温時	5℃~15℃	混合後7時間以内	やや増粘~変化無し

※5℃以下では、あらかじめ塗装を避けてください。

ご使用上の注意事項

●予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

●対応

- 目に入った場合 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。皮膚に付着した場合 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。飲み込んだ場合 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保管
 - 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
 - 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
 - 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄
 - 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施工後の安全
 - 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。
- 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
 北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
 東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
 北関東圏 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
 東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
 中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
 大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
 中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
 四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
 九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

ご用命は

(18年11月16刷POM) カタログNo.576
頒布価格 1,500円(税込)